

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	高知版ネウボラの推進（ネットワークの連携・強化）	事業No.	101
取組の方向	①地域における子育て支援の充実					担当課	子ども・子育て支援課


目指す姿・事業の狙い	妊娠期から子育て期まで切れ目のない総合的な支援の強化	指標	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	出発点(R1)	現状値					目標値(R5)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	95%

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		「子育て世代包括支援センター」を起点とした妊娠期から子育て期まで切れ目のない総合的な支援を強化し、「子育て家庭のリスクに応じた適切な対応」「子育て家庭の不安の解消」、「働きながら子育てできる職場づくりを進める。	○母子保健・児童福祉・子育て支援合同ヒアリング ○市町村への専門家派遣 ○高知版ネウボラ推進セミナーの実施			
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・全市町村の合同ヒアリング後の課題の整理 ・課題がある市町村に対し助言や指導を行うアドバイザーの派遣の実施 ・関係職種合同研修会の実施 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	<p><結果・成果>【R3.7月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健・児童福祉・子育て支援合同ヒアリング：22市町村1広域連合 ・高知版ネウボラ推進セミナー（7月28日）：19市町村1広域連合参加 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健・子育て支援・児童福祉・教育の各部門で、支援対象者の把握や対応の共有など連携のあり方に市町村間で差が生じている。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業 名称	子育て支援の情報発信（こうちプレマnet等）	事業No.	102
取組の方向	①地域における子育て支援の充実					担当課	子ども・子育て支援課

目指す姿・ 事業の狙い	出産・育児・子育て応援サイト「プレマnet」の情報発信や相談窓口等により、新米ママパパが安心して出産・育児ができる。	指標	プレマnetアクセス件数	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				－	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	－

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	○子育て支援のための情報を随時発信 ○高知県版父子手帳の作成及び配布	○出産・子育て応援サイトプレマnetのシステム改修 ○高知県版父子手帳の増刷及び配布				
改善計画 (P)		出産・子育て応援サイトこうちプレマnet改修後の周知				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	<結果・成果>【R3.7月末時点】 ・こうちプレマnetのシステム改修(R3.10完了予定) ・サイトアクセス数 33,994件(R3.4～7) （R2年度同時期22,267件） ・月平均アクセス数 8,499件(R3.4～7) （R2年度同時期5,567件） ・父子手帳「パパの本」（増刷予定）の内容校正				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・コロナ禍のなか在宅時間の増加によるものと見込まれるアクセス件数が増加している。 ・必要な情報にアクセスしやすくなるようシステム改修を行うことで利便性を向上させ、更なるアクセス件数の増加に繋げる。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	地域包括ケアシステムの構築（介護サービスの充実・確保）	事業No.	103
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	在宅療養推進課

目指す姿・事業の狙い	・在宅での生活を希望される介護が必要な方が、住み慣れた地域で暮らし続けられるようにする。	指標	-	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降	
	・「地域包括ケア推進協議体」等を活用した顔の見える関係づくりへの支援。	個々の協議体への支援					
	・地域包括支援センターへの地域包括ケア推進企画監等による支援やアドバイザー派遣による支援。	個々のセンターへの支援/アドバイザー派遣事業					
	・高知家@ラインを活用した医療と介護の連携の強化	各圏域での高知家@ラインの横展開/医療介護連携情報システム導入促進事業費補助金					
改善計画 (P)							

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3.6月末時点】 ・各福祉保健所地域包括ケア推進企画監による個々の協議体及び地域包括支援センターへの支援の実施 ・高知家@ラインの市町村説明会に向けての準備				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	地域包括ケアシステムの構築（介護サービスの充実・確保）	事業No.	103
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	高齢者福祉課

目指す姿・事業の狙い	・地域の実情に応じて必要な介護サービスが受けられる	指標	-	出発点(R●)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	-

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域介護サービス確保対策事業を実施する市町村へ支援 ・市町村担当者等の研修会へアドバイザーを講師として派遣し、市町村担当者等のスキルアップを目指す。 ・市町村が実施する住宅等改造補助事業への助成と、適切な改造に向けたアドバイザーの派遣 					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域介護サービス確保対策事業を実施する市町村へ支援 ・市町村担当者等の研修会へアドバイザーを講師として派遣し、市町村担当者等のスキルアップを目指す。 ・市町村が実施する住宅等改造補助事業への助成と、適切な改造に向けたアドバイザーの派遣 				

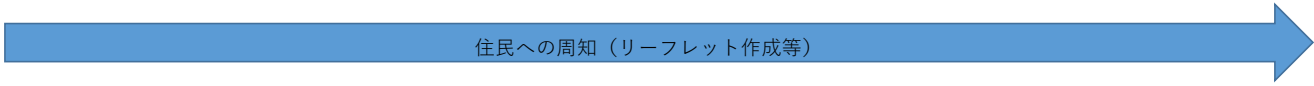
実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.6月末時点] ・中山間地域介護サービス確保対策事業を20市町村で実施 ・R3住宅等改造アドバイザー派遣事業 派遣件数 個人宅 1件 ・R3住宅等改造支援事業費補助金 助成件数 7件 (高齢者用)				
--------	-----------------------------------	--	--	--	--	--

評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅等改造を支援することで、高齢者が住み慣れた場所で安全な在宅生活を送れるよう住宅のバリアフリー化の推進を図った。(個人用) ・地域での総合的な在宅生活支援に必要な建築物の改造等を支援することにより、在宅福祉施策の促進を図った。(支え合い用) ・現地に住宅等改造アドバイザーを派遣することにより、申請者の身体状況等に適した改造をすることにつながった。 				
--------	-----------	--	--	--	--	--

改善 (A)	次年度の取組					
--------	--------	--	--	--	--	--

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	相談体制の充実	事業No.	104
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	高齢者福祉課

目指す姿・事業の狙い	・介護サービス事業者に関する情報や相談窓口の利用により、家庭における介護負担が軽減されている。	指標	-	出発点(R●)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	-

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・高齢者総合相談センター及び認知症コールセンターについて、住民への周知及び相談体制の更なる充実					
改善計画 (P)	・高齢者総合相談センター及び認知症コールセンターについて、住民への周知及び相談体制の更なる充実					
実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ・高齢者総合相談窓口実績 (4月～6月) 一般相談 159件 専門相談 12件 ・認知症コールセンター相談実績 (4～6月) ※在宅療養推進課 54件				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・住民の認知度向上のための周知及び相談体制の更なる充実が必要				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	フレイル予防の推進	事業No.	105
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	在宅療養推進課


目指す姿・事業の狙い	・対象者や地域の状況に応じたフレイル予防の推進	指標	-	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	-

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・フレイル予防の普及・啓発の実施 ・ガイドラインを活用した市町村での取り組みへの支援	<p>フレイル予防講演会の実施（県民向け）</p> <p>市町村への支援</p>				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3.6月末時点】 ・保健事業と介護予防の一体的実施におけるセミナーの開催（6月DVD視聴による） ・フレイル予防講演会の日程調整 ・中央西、中央東、幡多福祉保健所による市町村でのフレイルトレーナー、フレイルサポーター養成支援				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・保健事業と介護予防の一体的実施におけるセミナーについては、アンケート等の分析が必要				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	ボランティアセンター事業	事業No.	106
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	地域福祉政策課

目指す姿・事業の狙い	独居老人等に対するボランティア活動の促進	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・福祉教育基礎講座の開催 ・ボランティアコーディネーター研修事業の実施					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育基礎講座の開催 ・福祉教育実践研修の開催 ・ボランティアコーディネーター研修の開催 				

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果) 	<p>[R3.6月末時点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトプット (結果) ・ボランティアコーディネーター研修 5月14日 (金) 対 象：社協職員、施設等 参加者：21名 ○アウトカム (成果) ・ボランティアを受け入れるためのコーディネーターの知識、技術が向上した 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は新型コロナの影響で参加人数が少なかったが、今年度は夏のボランティア体験キャンペーンの受入登録時期に合わせて開催したため、その受入関係者が参加し、参加者数の回復につながった。 ・コロナ禍に対応したボランティアプログラムの開発や、若者のボランティア参加促進に向けたコーディネートなど受け入れ団体のさらなる機能強化が必要。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業 名称	独居老人等に対するNPOやボランティア活動の促進	事業No.	106
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	県民生活課


目指す姿・事業の狙い	引き続き各種セミナー等において、参加者ニーズを把握した取組を実施するとともに、NPOの地域課題解決力が高まるように支援する。	指標	NPO法人の増加 370法人 ナツボラ参加者 のべ1,200人 NPOセンター登録団体増 600団体 (H31～R5年度)	出発点(H29年度)	現状値					目標値(R5年度)
				332法人 のべ920人 491団体	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	370法人 のべ1,200人 600団体

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	(高知県ボランティア・NPOセンター) 講座等の学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人設立等相談支援 ・ビビネット (こうちボランティア・NPO情報システム) での情報発信 ・情報誌「手をつなGO」による広報 ・各種研修会等の開催 (NPO法人基礎研修、NPO法人実務講座、NPO経営研究会、ファンドレイジングセミナー、ファンドレイザー派遣、ボランティアガイダンス、こうちNPOフォーラムなど) ・ボランティア体験キャンペーン「ナツボラ」開催 など 				
改善計画 (P)	NPO等への活動活性化、財政基盤強化に向けた支援、情報提供					

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (結果)	【R3.6月末時点】 ○アウトプット (結果) 設立等相談件数 114件 各参加者数 ・ボランティアコーディネーター研修 21人 ・NPO実務講座 会計初級編 14人 ・NPO実務講座 税務編 13人 ○アウトカム (結果) 新たなNPO法人の認証 1法人				
評価 (C)	実施後の分析、検証	コロナ禍における活動停滞 (解散法人の増)、研修等の参加者伸び悩み				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業名称	男性対象家事・介護の基礎講座の開催	事業No.	107
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	地域福祉政策課

目指す姿・事業の狙い	介護に対する県民の理解が深まる。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		県民介護講座の開催等により介護に対する知識の向上を図る。				
改善計画 (P)		県民に対する介護講座事業の開催				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.6月末時点] ○アウトプット (結果) 県民介護講座 ・体験入門講座 見学コース 1回 6人 高齢者疑似体験コース 1回 6人 車イス体験コース 1回 6人 ○アウトカム (成果) 介護を必要とする方への理解を深めることができた。				
評価 (C)	実施後の分析、検証	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小したり、一部講座を取り止めた。 本事業の利用がさらに広まるよう積極的な広報が必要。 今後も、中止や規模縮小が必要であれば年間計画の変更を検討する。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	1 育児・介護等の基盤整備	事業 名称	男性対象家事・介護の基礎講座の開催	事業No.	107
取組の方向	②地域における介護支援の充実					担当課	ソーレ

目指す姿・事業の狙い	固定的な性別役割分担意識の解消と、男性の家事・育児・介護への参加促進のため、男性対象家事講座の開催を行う。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・男性講座の開催					
改善計画 (P)		ニーズに沿った内容の男性対象講座を開催し、固定的な性別役割分担意識の解消と、男性の家事・育児・介護への参加を促進する。				
実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証	—				
改善 (A)	次年度の取組	—				

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	介護予防と生きがいづくりの推進	事業No.	108
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	高齢者福祉課

目指す姿・事業の狙い	・高齢者が、それぞれの地域で活躍し、地域での見守りやボランティア活動などを通じた支え合う地域づくり ・介護予防事業の観点も踏まえた生きがいづくりの構築 ・高齢者が生きがいを持って暮らし、住み慣れた地域で活躍する社会の構築	指標	-	出発点(R●)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	-

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・市町村の介護予防事業への専門職派遣を支援 ・高齢者の生きがいや健康づくり ・老人クラブの活動助成					
改善計画 (P)	・市町村の介護予防事業への専門職派遣を支援 ・高齢者の生きがいや健康づくり ・老人クラブの活動助成					

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6末時点】 ・市町村の介護予防事業への専門職派遣支援について、各保険者へ実施要領等送付 ・こうちシニアスポーツ交流大会2021参加者664人				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・こうちシニアスポーツ交流大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により各競技で中止や縮小開催となったため、参加者数が減少した。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業 名称	認知症高齢者施策の推進	事業No.	109
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	在宅療養推進課

目指す姿・ 事業の狙い	・認知症の人やその家族が、自分らしく暮らし続けることができ、認知症があってもなくても同じ社会の一員として、自らの意志に基づいた生活を送ることができる	指標	-	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	-

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・県民への認知症に関する理解・促進	県民への周知（認知症サポーター養成講座の開催、リーフレットの配布、アルツハイマーデーのイベント、本人発信等）				
	・認知症コールセンターの住民への周知及び相談体制のさらなる充実	県民への周知（リーフレットの配布等）				
	・講座の講師役であるキャラバンメイトの資質向上により、幅広い人材を活用した講座を展開	研修等の開催（キャラバンメイト、チームオレンジ）				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3.6月末時点】 ・認知症サポーター養成講座（県） （4月、6月） 40名受講 ・セルフチェックのできるリーフレットの市町村への配布 ・認知症コールセンターへの相談件数（4～6月） 54件				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・認知症サポーター養成講座の周知広報 ・認知症コールセンターの普及、啓発				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	交通安全、消費生活等に関する情報提供と啓発	事業No.	110
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	県民生活課

目指す姿・事業の狙い	(安全安心まちづくり推進) ・安全安心まちづくりに関するイベントの開催 ・地域における高齢者及び高齢者周辺者対象の出前講座の実施 (交通安全対策) ・高齢者交通事故防止キャンペーン(9~12月)における各種啓発活動の実施	指標	参考 (高齢者の交通事故割合・死者数の割合) (高齢者への出前講座実績)	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				高齢者の交通事故割合44%、死者割合76% 高齢者への出前講座16回、767人	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画(P) 線表	○春・秋・年末年始の交通安全運動において関係団体と連携し「高齢者の事故防止」に係る啓発の実施 高齢者交通事故防止キャンペーン(9~12月)での啓発の実施 ○安全安心まちづくりイベントの開催 ○高齢者及び高齢者周辺者対象の出前講座の実施					
改善計画(P)						

実行(D)	成果 ・アウトプット(結果) ・アウトカム(成果)	【R3.6月末時点】 ・春の交通安全運動での交通事故防止に係る広報・啓発 4月6日~4月15日 (・安全安心まちづくりイベントは10月頃開催) ・消費生活センターでの高齢者への出前講座開催はゼロ				
評価(C)	実施後の分析、検証	・R3.6月末時点での高齢者の交通事故割合は、事故件数43%(222/516件)、死者数は82%(14/17人)と占めており、高齢者の事故防止は依然として大きな課題。 ・R3.6月末時点での特殊詐欺件数は前年同期より減少している(高齢者の被害割合は公表されていない)ものの、手口が年々巧妙・多様化し新たな手口が出ている。				
改善(A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業 名称	地域における相談支援体制の充実強化と社会参加の推進	事業No.	111
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	障害福祉課

目指す姿・ 事業の狙い	・障害者等用駐車場の適正な利用が図られる。 ・障害のある人もない人も安心して暮らせる「ひとにやさしいまちづくり」の実現	指標	(R3~R7) 対象スペース 50台増 (車椅子用及びプラスワンの合計台数)	出発点(R2)	現状値					目標値(R7)
				10台増 (実績)	R3:6:4台増	R4:	R5:	R6:	R7:	50台増

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降	
		・民間事業者等に協力施設への登録依頼を継続し、とくにプラスワン駐車場の拡充を図る。 ・広報紙やテレビ、ラジオなど、様々な広報手段を通じて、制度が県民に正しく認知され、障害者等用駐車場の適正利用が徹底されるよう、制度の普及啓発を図る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報啓発 (広報紙への掲載、テレビ・ラジオ読み上げ、イベント時や障害者手帳交付時などで制度を周知するチラシの配布 等) ・民間事業者等に協力施設への登録依頼 ・利用証の交付 ・相談対応 等 </div>				
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・制度の正しい認知の向上 ・協力施設及び対象スペースの増加 					

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	<p>[R3.6月末時点]</p> <p>○アウトプット (結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳交付時にチラシの配布 ・テレビ・ラジオ読み上げ広報の依頼：5月 <p>○アウトカム (成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力施設：1施設減、(累計) 1,199施設 ・対象スペース増：車椅子用1、プラスワン3 (累計) 車椅子用1,671、プラスワン510 ・利用証交付者数：565件 (累計) 21,232件 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・利用証発行数は増加していることから、民間事業者等に協力施設への登録依頼を継続して実施し、対象スペース増加につなげていく必要がある。 ・6/10付けの高知新聞に制度導入後10年の取材記事が掲載されたことにより、当日は問合せが約10倍となったことから、制度を周知するために広報の工夫が必要である。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	障害者の就労促進と工賃アップ・働く場の確保	事業No.	112
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	障害保健支援課


目指す姿・事業の狙い	障害の特性等に応じて安心して働ける体制の整備 ・企業における障害者雇用の推進 ・障害者の実習・職業訓練の拡充 ・多様な働き方の推進 福祉事業所の工賃向上に向けた支援	指標	ハローワークを通じた就職者数 平均工賃月額	出発点(R1)	現状値					目標値(R5)
				617人 20,005円	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	800人 未定 (平均工賃月額)

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		・法定雇用義務企業（法定雇用未達成企業中心）への個別訪問 ・障害特性に応じた職業訓練の実施 ・テレワークや農福連携、短時間勤務雇用の推進により、障害者の社会参加を促進 ・工賃向上計画の策定 ・工賃向上アドバイザー派遣制度の実施	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <p> ・企業訪問 ・障害者職業訓練 ・工賃向上アドバイザー派遣事業 ・就労体験拠点設置事業 ・在宅就業促進支援事業（お試しテレワーク、支援員向け研修） ・テレワーク合同企業説明会 ・障害者雇用促進セミナー ・農福連携促進事業 等 </p> </div>			
改善計画 (P)		企業訪問時における障害者雇用に係る理解促進活動の強化 工賃向上アドバイザー派遣制度の活用促進				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	[R3.6月末時点] ○アウトプット（結果） ・障害者職業訓練（実践能力・知識技能） 受講者数：10人 ○アウトカム（成果） ・就職者数：2人				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・障害者職業訓練の受講者数については、昨年度よりも好調に推移 ・新型コロナウイルス感染症の影響により就労継続支援事業所の生産活動収入は減少				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	日本語ボランティア講師の養成（高知県国際交流協会）	事業No.	113
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	国際交流課


目指す姿・事業の狙い	日本語ボランティアの人数・質が充実し、地域における日本語教育に参画することで、外国人が暮らしやすい地域づくりに繋がっている。	指標		出発点(R2)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	日本語教室未開催の地域への立ち上げ支援を継続するとともに、登録済みボランティアの能力の維持・向上に努める。					
		①高知県日本語教育推進会議での県の基本的な方針の策定 ②地域における日本語教室スタートアップ事業	●R3年度中に策定する県の日本語教育の基本的な方針に基づく取組を推進			
改善計画 (P)		① 日本語教育関係者、有識者等からの意見を踏まえた方針案の策定 ② 日本語教育の開設（ニーズ調査）に向けた市町村へのアプローチ ③ 協会が行う講座の認知度の向上				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3.6月末時点】 ① 日本語教育推進会議を2回開催（4/27, 6/18） ② 土佐市、黒潮町で日本語ボランティアによる教室運営の検討会を開催 ③ 本年度の講座内容に関する企画検討				
評価 (C)	実施後の分析、検証	② 地域の日本語教室について、市町村が主体性を持って関わることが、持続可能な運営のために不可欠 ③ 登録されたボランティアの活用方法の検討や、講座等を未受講のボランティアに対するアプローチが必要				
改善 (A)	次年度取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	ホームページやブログ、生活情報誌などによる情報提供 (高知県国際交流協会)	事業No.	114
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	国際交流課

目指す姿・事業の狙い	県や高知県国際交流協会の多文化共生・国際交流に関する活動が、広く市町村、地域住民、在住外国人に認知されている	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R7)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		機関誌及び生活情報冊子、またインターネット等を活用した情報発信により、生活に必要な情報、イベント等の案内や防災に関する情報を在住外国人等に提供する。				
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ① 機関誌及び生活情報冊子の発行 ② インターネット (HP、Facebook、メールマガジン) を活用した情報発信 				
		<ul style="list-style-type: none"> ① 機関誌及び生活情報冊子の配置場所等の見直し ② フォロワー数の確保や、活用する媒体の集約等 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ① 9月発行号の企画・取材等 ② ホームページ更新回数：14回 Facebook：25回 (フォロ-数682) メールマガジン発行数：0回 (登録者数263名)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	① 幅広い層の県民の手に届くよう、配置場所等の定期的な見直しが必要 ② インターネット媒体について、より訴求性の高い媒体への集約が必要				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	在住外国人への防災・災害情報提供（高知県国際交流協会）	事業No.	115
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	国際交流課

目指す姿・事業の狙い	災害発生時、高知県災害多言語支援センターの開設により必要な情報が多言語で発信できるとともに、災害時の外国人支援に向けた啓発が十分になされている。	指標	出発点(R1)	現状値					目標値(R7)
				R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
	在住外国人を南海トラフ地震から守ると共に、外国人の自助・共助の取り組みを支援する仕組みを構築するための取り組みを実施する。	<第4期南トラフ地震対策行動計画> ① 高知県災害多言語支援センターの開設・運営体制の構築 ② 国際交流協会が行う防災に関する講座・交流会等	<第5期南トラフ地震対策行動計画> ● 第5期計画に基づく取組を推進（R3年度中に策定）			<第6期南トラフ地震対策行動計画> ● 第6期計画に基づく取組を推進（未策定）
改善計画 (P)		② 在住外国人にとって関心の深いテーマの設定				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3. 6月末時点】 ① センター開設・運営マニュアル案の作成 ② 講座・交流会等の開催内容の企画				
評価 (C)	実施後の分析、検証	① センターの開設・運営マニュアルにおいて、実効性の高い体制や手順を定めることと、定期的な訓練による見直しが必要 ② 在住外国人、地域住民、市町村に対し災害時の外国人支援に関する啓発が必要				
改善 (A)	次年度取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳講座の開催 (高知県国際交流協会)	事業No.	116
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	国際交流課


目指す姿・事業の狙い	登録されている語学ボランティアが自らの能力・知識を高めるための学習の機会が提供されており、県や国際交流協会の取組に意欲を持って貢献することができる	指標		出発点(R2)	現状値					目標値(R7)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	講座により語学ボランティアのスキルアップに努めるとともに、災害時の外国人支援など重要性の高いテーマについて啓発を行う	<第4期南トラ地震対策行動計画> ① 語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳講座開催事業（災害時の外国人支援に関する研修等）	<第5期南トラ地震対策行動計画> ● 第5期計画に基づく取組を推進（R3年度中に策定）			<第6期南トラ地震対策行動計画> ● 第6期計画に基づく取組を推進（未策定）
改善計画 (P)		① 講座を未受講のボランティアに向けたアプローチ・ボランティア活用方法の見直し				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3. 6月末時点】 ① 語学ボランティアとして185名が登録 (内訳：一般語学ボランティア104名、災害語学ボランティア81名)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	① 登録されたボランティアの活用方法の検討や、講座等を未受講のボランティアに対するアプローチが必要				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	外国人が安心して相談できる体制の充実 (高知県外国人生活相談センター)	事業No.	117
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	雇用労働政策課

目指す姿・事業の狙い	在留外国人が生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができる。	指標	相談件数 400件	出発点(R2)	現状値					目標値(R5)
				493件	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	400件

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	在留外国人に対して、在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語で情報提供及び相談を行う。					
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.6月末時点] ○アウトプット (結果) ・愛称の決定 (ココフォーレ) ・出張相談会の開催 (四万十市) ○アウトカム (成果) ・相談件数 144件				
評価 (C)	実施後の分析、検証	愛称の決定により、認知度を向上させることができた。 出張相談会の開催により、幡多地域に住む外国人への支援ができた。 相談件数も目標達成が見込める数値となっている。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	就労相談の実施	事業No.	118
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	雇用労働政策課


目指す姿・事業の狙い	高知県就職支援相談センター（ジョブカフェこうち）において、きめ細やかな相談を始め、求職者の状況や段階に応じた支援を通じて、ミスマッチのない円滑な就職と職場定着につなげ、県内企業における人材の確保・育成・定着を図る。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	キャリアコンサルタントが担当制できめ細やかな相談対応を行う（かかりつけ相談体制）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><支援対象者の掘り起こし・窓口誘導> 広報（広報誌、メールマガジン、SNSを通じたWEB広告等によりHPへ誘導）、出張相談会</p> <p><就職相談> かかりつけ相談体制、対面・電話・オンライン</p> </div>				
改善計画 (P)						

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトプット（結果） アウトカム（成果） 	<p>(R3.6末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトプット 相談件数 616件、来所相談実人数 215人 新規登録者数 177人 就職支援計画書作成件数 86件 アウトカム 就職者数 184人（うちR3年度に就職支援計画書を作成した者41人）*併設HWの就職者含 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> 一昨年同期（コロナ前）と比較して、来所相談実人数、新規登録者数は同程度、相談件数は増加（+109件）している。 *昨年同期はコロナの影響により来所相談や各種セミナーを中止していたため、相談件数等は減少していた 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	ひとり親家庭等自立支援事業	事業No.	119
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	子ども・子育て支援課


目指す姿・事業の狙い	・ひとり親家庭が自立し、経済的に安心して暮らし、子どもたちが夢と希望を持って育つことができる環境を整えること。 ・ひとり親家庭への経済支援に関する情報が確実に届き、安定的な就労収入等を得るための相談支援体制が充実していること。	指標	勤務先での正規雇用率（母子世帯）	出発点(H27)	現状値					目標値(R5)
				56.70%	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	65%

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭等就業・自立支援センターの体制強化を行い、就業実績の向上を図る。 ○ひとり親家庭の親が、就職やキャリアアップのために職業訓練等を受講する場合等に、給付金を支給する。 ○母子父子寡婦福祉のしおりをひとり親家庭及び関係機関へ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○R3.6月ひとり親家庭等就業・自立支援センターが新体制でスタート ○高等職業訓練給付金の支給要件緩和（1年以上のカリキュラム→6か月以上） ○住宅支援資金貸付事業の開始 	 <ul style="list-style-type: none"> ○センターでの就業相談、法律相談、自立支援プログラムの策定 ○ひとり親家庭自立支援給付金の支給 ○ひとり親家庭のための各種支援制度の周知・広報 			
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	<結果・成果>【R3.6月末時点】 ・R3.6月～ひとり親家庭等就業・自立支援センターの運営をNPO法人GIFTに委託 ・センター相談件数58件（うち法律相談9件） ・高等職業訓練給付金6件 ・自立支援教育訓練給付金1件（講座指定）				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・新規事業者によるセンターの運営は順調に経過している。 ・自立支援給付金の申請件数は前年同期に比べやや減少している。 【R2.6月末時点】 ・高等職業訓練給付金8件 ・自立支援教育訓練給付金2件				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業 名称	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	事業No.	120
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	子ども・子育て支援課

目指す姿・ 事業の狙い	・ひとり親家庭が自立し、経済的に安心して暮らし、子どもたちが夢と希望を持って育つことができる環境を整えること。 ・経済的に厳しいひとり親家庭に貸付を行い、その家庭の自立支援や子どもの健全育成を図るもの。	指標	制度の周知度	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				－	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	－

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		○母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦に各種資金を貸付 ○ひとり親家庭等福祉のしおりをひとり親家庭及び関係機関へ配布 ○貸付制度の周知方法の拡充	 <ul style="list-style-type: none"> ○母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦に各種資金を貸付 ○ひとり親家庭等福祉のしおりをひとり親家庭及び関係機関へ配布 ○貸付制度の周知方法の拡充 			
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	<結果・成果>【R3.6月末時点】 ・貸付件数 22件 ・貸付金額 16,415,640円 ・ひとり親家庭等福祉のしおりをひとり親家庭及び関係機関へ配布 21,000部 ・市町村役場及び県福祉保健所担当者向けに担当者会を実施 (R3.5月)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・前年同期の貸付実績に比べ減少しているが、他の貸付や給付制度の拡充による影響と考えられる。 【R2.6月末時点】28件19,071,492円				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	社会的自立に困難を抱える若者への支援	事業No.	121
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	生涯学習課

目指す姿・事業の狙い	若者の学びなおしと自立支援事業	指標	若者サポートステーション利用者の進路決定率 (半年度) 40%以上	出発点(R2)	現状値				目標値(R6)
				42.8%	R3: 17.3%	R4:	R5:	R6:	40%以上

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
	<ul style="list-style-type: none"> ○若者サポートステーションの支援の充実 (委託) ○関係機関との連携強化のための連絡会の開催 ○アウトリーチ型の支援の充実 ○学校と連携した在校生への早期支援 ○支援員の資質向上のための「若者はばたけ」 	<p>【通年事業】○若者支援員による就労・修学支援や臨床心理士等によるカウンセリング ○就労につながる各種セミナーや職場見学、職場体験など ○アウトリーチ型支援による出張相談・訪問支援・送迎支援 ○国・県・市町村、学校、各種支援機関等の関係機関との連絡調整 等</p> <p>【通年事業】就職氷河期世代活躍支援：Web広告による周知・職場体験 等</p>				
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代活躍支援にかかる職場体験を行うために、職場開拓で協力を得られた事業所を一覧表にまとめる。 ・利用登録に向けた取組として、福祉指導課と連携して新任職員研修（生活保護査察指導担当）で事業説明を行う。 ・オンライン相談の実施 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ○アウトプット (結果) ・地区別連絡会・、高等学校担当者会の実施 参加者：127人 ・若者自立支援セミナー・相談会の実施 参加者：54人 ○アウトカム (成果) 進路決定者数：55人 (17.3%)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	昨年度は、コロナ禍で来所人数が減少していたが、コロナ禍に対応した生活様式が日常化してきたことも功を奏し、昨年度同月と比較して今年度は来所人数が増えている (来所延べ人数788名増)。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	民生委員・児童委員活動の充実	事業No.	122
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	地域福祉政策課

概要	<ul style="list-style-type: none"> 活動費に対する助成 必要な知識、技術の習得のため研修を充実・強化 活動への住民の理解を進めるための広報・啓発を推進 	指標	-	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				-	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
	<ul style="list-style-type: none"> 複雑化する地域ニーズに対応できるよう研修の充実を図る 活動ハンドブックの活用 協定事業者の拡充 県広報等を活用した住民への活動の周知・理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動費に対する助成 ○経験年数等に合わせた段階的な研修の実施 ○市町村等に対して、各市町村における担い手確保のための様々な取組を情報共有 ○民生委員・児童委員活動の県民への周知 ○見守り協定の締結 				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	(R3.6月末時点) ○アウトプット 民生委員・児童委員活動費補助金交付				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	多様な性の理解に向けた広報・啓発	事業No.	123
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・事業の狙い	性の多様性について社会的な理解促進を図り、互いに認め合える社会。	指標	/	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	ソールで実施しているセミナーや講演、広報誌等で広報・啓発実施。県においても、広報啓発を適宜行う。	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> ソールにおける、セミナー・講演や広報誌での啓発活動。 県における、性の多様性に係る広報・啓発。 </div>				
改善計画 (P)		LGBT関連の講座 1 件実施予定 (令和 3 年11月)				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	本人の了承を得ない性的指向・性自認の暴露 (アウトティング) やSOGIハラスメントの防止	事業No.	124
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・事業の狙い	性の多様性について社会的な理解促進を図り、互いに認め合える社会。	指標	/	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				/	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	/

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	ソールで実施しているセミナーや講演、広報誌等で広報・啓発実施。県においても、広報啓発を適宜行う。	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> ソールにおける、セミナー・講演や広報誌での啓発活動。 県においても、広報・啓発を適宜実施。 </div>				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	事業名称	行政手続きにおける配慮の推進	事業No.	125
取組の方向	①貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・事業の狙い	身体性の性と自認している性が異なっているなどの理由により、性別記入のある行政サービスが受けにくいと感じている方への配慮をすとも、職員一人ひとりがSOGIへの理解をより深める	指標	/	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				/	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	/

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	県が県民に性別の記入を求める、又は、県民に配付する書類に性別が記入されている場合、業務上、性別情報が必要か、適宜確認する。新たに作成される申請書についても同様。	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 適宜、性別欄の必要性について見直し。また、新たに作成される申請書等についても性別欄の必要性について検討 </div>				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	女性問題解決・男女共同参画推進に向けた相談事業	事業No.	126
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	こち男女共同 参画センター「ソレ」


目指す姿・ 事業の狙い	一般相談、法律相談、こころの相談、男性相談を行うことで、女性問題解決および男女共同参画の啓発・推進を図る。	指標	こち男女共同参画センター「ソレ」における男性相談件数	出発点(R2)	現状値					目標値(R●)
				57件	R3.6:16件	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・相談の実施 一般相談、法律相談、こころの相談、 男性相談					
改善計画 (P)		相談員による一般相談と専門家による専門 相談の体制を維持しつつ、相談員のスキル アップを図るとともに、県民への効果的な周知 方法等を検討し、相談事業の拡充を行う。				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	R3.6月末時点] ○アウトプット ・一般相談 630件 ・法律相談 月2回(1回4名まで)22件 ・こころの相談 月2回(1回2名まで)11件 ・男性相談 月3回(1回2名まで)16件 ・性的少数者対象：にじいろコール～LGBTs に関する相談～/月1回 3件 ○アウトカム (成果) ・相談の実施により、女性問題の解決及び男 女共同参画の啓発・推進が図られた。				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・コロナウイルス感染症拡大を背景に、相談 件数の一定増加が見られたが、体制の強化 により対応した。				
改善 (A)	次年度の取組	-				

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	人権相談の実施	事業No.	127
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・事業の狙い	指標	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
			R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	今後もホームページ等で広報し、来所や電話等による人権相談に対し、関係機関との連携を図りながら対応していく必要がある。					
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【6月末時点】 女性の人権や性的指向・性自認、セクハラに係る人権相談を行った。 ・人権・男女共同参画課 件数 0 ・人権啓発センター 件数 1				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	生涯にわたるスポーツ活動の推進	事業No.	128
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	スポーツ課


目指す姿・事業の狙い	・より質の高い1万人規模の大会が継続されている。 ・男女を問わず幅広い世代が高知龍馬マラソン大会に関わり「みる」「する」「ささえる」スポーツが広がっている。	指標	高知龍馬マラソン大会のエントリー数	出発点(R1)	現状値					目標値(R7)
				13,702人	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	1万人

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	高知龍馬マラソンの開催 ・参加者 1万人規模の大会継続に向けて、ランナーにとって、より「安心・安全」な大会運営及び魅力ある大会づくりを実施。 ・障害のある人や特別な配慮が必要な人もより安心・安全に参加することができる多様性を重視した大会として魅力ある大会づくり（ファンランを含めた）を実施。					
改善計画 (P)		新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染症対策を徹底し、「高知龍馬マラソン2022大会」の規模を縮小する等により、大会に参画する全ての者（ランナー・スタッフ・県民）にとって、安心・安全なフルマラソン大会を目指す。				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	（アウトプット） ・高知龍馬マラソン実行委員会令和3年度第1回総会（6月） ・新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せないなか、安心・安全な大会を開催するため、関係機関（県医師会及び高知市青少年育成協議会等）とボランティアスタッフ確保、感染症対策や大会規模について検討を行った。 （アウトカム） ・規模縮小のうえフルマラソンとする開催要項発表及びエントリー開始の準備ができた。（9月）				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・引き続き、感染状況の影響を考慮しながら開催準備を進める。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	生涯にわたるスポーツ活動の推進	事業No.	128
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	スポーツ課


目指す姿・事業の狙い	県内各地において、地域のスポーツ活動拠点が機能しスポーツ環境が整っている。	指標	地域スポーツハブの数	出発点(H30)	現状値					目標値
				3団体	R3: 9団体	R4:	R5:	R6:	R7:	11団体

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	地域スポーツハブ展開事業 ・すべての地域において、年齢や障害の有無に関わらず、県民誰もが身近な地域でスポーツに参加できる環境の拡充と、それらを通じた地域の活性化を目指し、総合型地域スポーツクラブや市町村体育協会等が核となり、行政や地域の多分野の関係者が連携して地域住民の多様なニーズに対応するスポーツサービスを計画し、実施する、地域スポーツの活動拠点「地域スポーツハブ」の取組を推進する。					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツハブの機能の充実及び継続に向けた支援 ・地域スポーツハブ未設置地域における取組の支援 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	(アウトプット) ◇地域スポーツハブへの広域的な活動やリモートスポーツの推進に向けての助言 ◇地域スポーツハブの新規設置・事業活動の実施に向けた支援 ・すさきスポーツクラブとの協議 (計4回) ・四万十市体育協会との協議 (計3回) ・佐川町さくらスポーツクラブとの協議 (計2回) ◇地域スポーツハブ未設置地域への取組の支援 ・ハブ促進委員会において広域展開を意識した事業活動の実施を依頼 (計8回) ・県内34市町村に向け、各市町村のスポーツを取り巻く環境についての調査を実施 (アウトカム) ・新たに須崎市に地域スポーツハブが設置 (9市町において地域スポーツハブ事業が実施)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・広域展開を意識した事業活動について、十分な取り組みが実施できていない ・地域スポーツの更なる推進においては、各市町村のスポーツを取り巻く状況について、より精緻に情報収集する必要がある ・助成終了後もハブの活動が継続される体制の整備に向けた更なる検討 (総合型スポーツクラブ等への支援、市町村行政との連携体制の構築等)				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだとこころの健康支援	事業名称	妊産婦に対する禁煙、受動喫煙の害の啓発	事業No.	129
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだとこころの健康支援					担当課	健康長寿政策課

目指す姿・事業の狙い	・妊産婦の喫煙率の改善 ・受動喫煙を受ける機会の減少	指標	成人の喫煙率	参考値	現状値	目標値(R5)
				(平成28年) 男性28.6% 女性7.4%	R3: 令和4年度県民健康・栄養調査で確認 R4: R5: R6: R7:	男性20%以下 女性5%以下

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん会等イベントでの禁煙相談及び受動喫煙防止普及啓発 禁煙支援に携わる支援者のスキルアップ研修を実施 改正健康増進法の全面施行に伴う各事業者等へ受動喫煙防止対策の徹底 					
改善計画 (P)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>リーフレット等を用いた禁煙・受動喫煙防止の普及啓発 赤ちゃん会等イベントでの禁煙相談及び受動喫煙の害についての普及啓発</p> </div>				
		<ul style="list-style-type: none"> 喫煙の健康被害と禁煙の重要性の普及啓発を行う。 喫煙をやめたい人がやめられるように、効果的な禁煙指導を目指した指導者のスキルアップ研修を行う。 (とき禁煙サポーターズフォローアップ等) 				

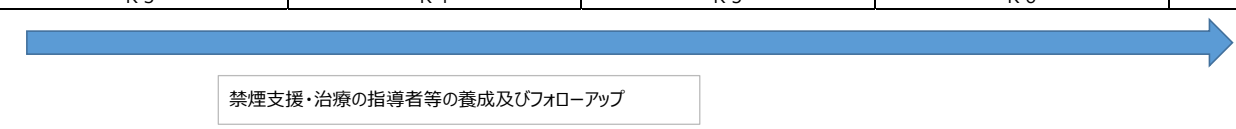
実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトプット (結果) アウトカム (成果) 	<p>[R3.6月末時点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトプット (結果) 世界禁煙デー・週間にあわせた啓発各福祉保健所や事業者によるポスターの提示 (5月) ○アウトカム (成果) 周知によって、県民の禁煙への行動変容を促した。 				
--------	---	---	--	--	--	--

評価 (C)	実施後の分析、検証	-				
--------	-----------	---	--	--	--	--

改善 (A)	次年度の取組					
--------	--------	--	--	--	--	--

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	禁煙治療につなぐ支援体制の充実	事業No.	130
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	健康長寿政策課


目指す姿・事業の狙い	喫煙をやめたい人がやめられるように、より効果的な禁煙治療や保健指導が実施されるよう、関係者のスキルアップを行う。	指標	・禁煙支援・治療のための指導者養成講習(e-ラーニングを活用)の修了者数 ・成人の喫煙率	参考値	現状値	目標値(R5)
				(修了者数) 52名 (喫煙率) 平成28年 男性28.6% 女性7.4%	(修了者数) R3: 令和3年12月～令和4年2月末実施 (喫煙率) R3: 令和4年度県民健康・栄養調査で確認 R4: R5: R6: R7:	(修了者数) 70名以上 (喫煙率) 男性20%以下 女性5%以下

計画(P)線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		・禁煙支援・治療の指導者養成事業(e-ラーニングを活用した講習)及びフォローアップ				
改善計画(P)		・医師、薬剤師、市町村等の保健指導従事者への講習を行い、より効果的な禁煙治療と保健指導を図る。 ・とさ禁煙サポーターズに対し、講習会を実施することで、最新情報の提供やスキルアップを図る。				

実行(D)	成果 ・アウトプット(結果) ・アウトカム(成果)	[R3.6月末時点] ○アウトプット(結果) ・特定保健指導従事者育成研修会 出席者数: 43名 (R3.6.14 リモート開催) ○アウトカム(成果) 禁煙治療や保健指導を行う関係者のスキルが向上し、より効果的な保健指導が実施できる体制となった。				
評価(C)	実施後の分析、検証	-				
改善(A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	性差に応じた健康支援（がん検診）	事業No.	131
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	健康対策課

目指す姿・ 事業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の受診促進 検診の意義・重要性の周知 利便性の向上 乳・子宮頸がんの医療機関検診の周知 	指標	がん検診受診率 (40-50代、地域+職域)	出発点(R1)	現状値					目標値(R7) ※R6年度受診率
				子宮頸がん 46.0% 乳がん 51.2%	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	子宮頸がん:50%以上 乳がん:受診率の上昇

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> TV、WEB、SNS等による受診勧奨 検診実施医療機関一覧の作成、配布 					
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 <ul style="list-style-type: none"> アウトプット (結果) アウトカム (成果) 	<ul style="list-style-type: none"> 検診実施医療機関一覧の作成、配布 				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだとこころの健康支援	事業名称	薬物乱用防止に関する普及・啓発の促進	事業No.	132
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだとこころの健康支援					担当課	薬務衛生課

目指す姿・事業の狙い	青少年を中心とした広報・啓発を通じた県民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止（「高知県薬物乱用対策第五次五カ年戦略」目標）	指標	県内中学校及び高校における薬物乱用防止教室実施率：100%	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				文科省集計中 (参考；H30年度81%)	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を中心に薬物乱用防止教室やキャンペーンの実施等による薬物乱用防止対策の推進 ・大麻に関する正しい知識の普及・啓発の強化 ・薬物乱用防止教育に関する関係機関（県教育委員会、県警、県等）の連携による効果的な指導方法や内容、啓発の充実策の構築と実践 ・イベント等の機会を捉えた啓発資材の配布 					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止推進員を中心とする地域に根ざした啓発活動 ・薬物乱用防止教室の実施 				

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果） 	<p>【R3.6月末時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトプット（結果） ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <ポスター・標語コンテスト> <p>県内中学校あてに参加依頼 122校</p> <ul style="list-style-type: none"> <6・26ヤング街頭キャンペーン> 各地区薬物乱用防止推進協議会によるキャンペーンを実施 ・各学校での薬物乱用防止教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○アウトカム（成果） ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <ポスター・標語コンテスト> <p>募集期間中（10月末応募済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <6・26ヤング街頭キャンペーン> <p>新型コロナウイルス感染症流行の影響により実施期間を延長し実施する予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室（福祉保健所職員講師分） <p>開催数：3校（小学校2,大学1） 受講者数：63名</p>				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症流行の影響により、イベント等の開催が困難な状況 ・薬物乱用防止教室 <ul style="list-style-type: none"> 上記と同様の理由により教室の講師（福祉保健所職員）依頼が減少 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	薬物乱用防止に関する普及・啓発の促進	事業No.	132
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	保健体育課

目指す姿・事業の狙い	・生徒が薬物乱用の現状、有害性、危険性を知り、薬物の誘惑に対する対処法を身につけることができる。 ・学校関係者が薬物乱用の現状、有害性、危険性を知り、薬物の誘惑に対する対処法を身につけることができるとともに、生徒への指導ができる。	指標	薬物乱用防止教室実施率100%	出発点(H30)	現状値					目標値(R●)
				・中学校87.7% ・高等学校93.9%	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・各関係機関と連携し、薬物乱用防止教育の推進を図る。 ・薬物乱用防止教室実施状況の中間調査を実施。 ・各市町村教育委員会及び各県立学校に対し、昨年度の薬物乱用防止教室の開催状況結果と全国の開催状況結果を通知し、薬物乱用防止教室の開催に向けての更なる意識づけを行う。					
改善計画 (P)		・薬物乱用防止教室実施状況調査の実施。 ・各市町村教育委員会及び各県立学校に対し、昨年度の薬物乱用防止教室の開催状況結果と全国の開催状況結果を通知し、薬物乱用防止教室の開催に向けた更なる意識づけを行う。 ・養護教諭の悉皆研修会等で薬物乱用防止に関する啓発実施。 ・各関係機関と連携し、薬物乱用防止教育の推進を図る。				
実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.3月末時点] ○アウトプット (結果) ・薬物乱用防止対策等の徹底についての啓発文の通知 (R2.2.3) ・養護教諭悉皆研修 (R2.11.30~R2.12.11 動画配信) において薬物乱用防止に関する啓発を実施 ※新型コロナの影響により、R2年度の薬物乱用防止教室の実施状況調査が実施できていない (R3.11月頃調査予定)。 ○アウトカム (成果) 通知文や研修会での啓発により、薬物乱用防止教室や薬乱に関する生徒指導の必要性について、学校関係者の意識付けにつながった。				
評価 (C)	実施後の分析、検証	現状把握が不十分なため、薬物乱用防止教室実施状況調査をR3.11月頃に実施し、現状を把握する。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	薬物乱用防止に関する普及・啓発の促進	事業No.	132
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	組織犯罪対策課


目指す姿・ 事業の狙い	薬物乱用から県民を守る。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上の違法情報の収集 ・他機関と連携した薬物乱用防止広報啓発活動の実施 ・薬物乱用防止教室の実施。 					
改善計画 (P)		若年層による大麻事犯増加に伴う、大麻乱用防止広報活動の強化				

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果) 	<p>薬物乱用防止教室の実施 (成果) (令和3年1月～6月)</p> <p>小学校 42回 1,002人 (教員118人) 中学校 23回 955人 (教員130人) 高校 12回 1,105人 (教員114人)</p> <p>合計 119回 3,062人</p>				
評価 (C)	実施後の分析、検証	コロナの影響により、薬乱防止広報イベントが一切実施できていない。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	薬物乱用に関する相談	事業No.	133
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	薬務衛生課


目指す姿・事業の狙い	地域社会における薬物乱用者本人及び家族等への支援体制の充実	指標	相談窓口の設置：計6カ所 (設置場所：各福祉保健所,精神保健福祉センター)	出発点(R1)	現状値						目標値(R●)
				6カ所	R3: 6カ所	R4:	R5:	R6:	R7:		

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・薬物乱用者及びその家族へのケアができる体制づくりの推進 ・継続的な相談業務の実施					
改善計画 (P)		・薬物相談窓口設置の継続 ・薬物関連問題関係者の連絡会議の開催				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ○アウトプット (結果) ・薬物相談窓口の設置 (継続) ・自殺・依存症ネットワーク会議 (1回) 及び アディクションフォーラム実行委員会 (3回) の開催 ○アウトカム (成果) ・薬物相談件数：年度末に集計予定 ・自殺・依存症ネットワーク会議の開催 (5/27)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・薬物相談窓口の設置 機会を捉えた薬物相談窓口の周知が必要 ・連絡会議の開催 新型コロナウイルス感染症流行の影響により、集合型の連絡会議の開催が困難な状況				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	薬物乱用に関する相談	事業No.	133
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	障害保健支援課


目指す姿・ 事業の狙い	・当事者が相談・治療につながる体制づくり	指標	アルコール以外の依存症専門医療機 関：県内に1か所以上	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・薬物依存症についての普及、啓発 ・相談体制の充実、強化					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ・アディクションフォーラムの実施により、依存症に関する正しい知識の普及啓発に取り組む。 ・アルコール以外の専門医療機関の選定を目指す。 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	・アディクションフォーラム実行委員会の実施し、今年度のアディクションフォーラムの実施内容などの準備を行った。				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・R4.2に開催予定				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	薬物乱用に関する相談の充実	事業No.	133
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	組織犯罪対策課

目指す姿・ 事業の狙い	県民が薬物乱用に関する相談をしやすい環境を整える。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	薬物相談電話の周知を図るために広報活動を強化					
改善計画 (P)		相談件数が少ないことから、薬物乱用防止教室、各種イベント等において、広報活動を強化する必要がある。				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	・ラジオ放送や広報誌等を媒体として、薬物相談電話番号の積極的な広報を実施 (5/31ラジオ放送、広報こうち6月号への掲載)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	専用の薬物相談電話がある中、既に周知されている警察総合相談電話等に薬物相談電話がかかることが多く、専用電話であることの更なる広報が必要。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	学校におけるHIV(エイズ)、性感染症に関する教育の推進	事業No.	134
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	保健体育課

目指す姿・事業の狙い	性に関する正しい知識を身につけ、自他を思いやり尊重できる児童生徒、適切な意志決定や行動選択ができる児童生徒を育成する。	指標	性に関する指導の年間計画作成率 60.0%	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				56.6% (令和2年度調査結果)	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画(P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		HIV感染症等のまん延防止のための予防啓発 ・小学校への出前講座及び学校主体で実施する性教育の支援。 ・大学祭等でのエイズ予防キャンペーンの実施。				
改善計画(P)		令和3年2月に作成し、各学校に配布した「性に関する指導の手引き」及び「指導用教材」の周知と活用による各発達段階における性に関する指導の充実を図る。				

実行(D)	成果 ・アウトプット(結果) ・アウトカム(成果)	<p>[R3.3月末時点]</p> <p>①いのかの教育推進事業 中芸広域連合において地域の実態に応じた性に関する指導の充実が図られるよう、検討会を開催し指導内容等について協議を重ねながら、域内の各学校で外部講師による性に関する指導を実施した。</p> <p>②性に関する指導用冊子の改訂 冊子改訂ワーキング委員会を開催し、「性に関する指導の手引き」及び「指導用教材」を作成し、令和3年2月に各学校へ配布した。</p>				
評価(C)	実施後の分析、検証	<p>①地域全体で性に関する指導の考え方や地域の実態に応じた目的、指導方法等を検討し共通理解を図りながら取り組んだことで、学校と地域母子保健部局や教育委員会が一体となって性に関する指導を推進することができた。</p> <p>②高知県における性に関する課題や現代的課題に対応するため、学校教育の12年間を見通した「高知県性に関する全体計画」を作成し、各校種別に学習指導案と指導教材が作成できた。今後はこの活用について周知し、各発達段階における性に関する指導の充実を図る。</p>				
改善(A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	HIV(エイズ) に関する相談、検査の実施	事業No.	135
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	健康対策課


目指す姿・事業の狙い	○ホームページ等を活用したエイズに関する正しい知識及び検査相談の情報提供。 ○県民への啓発	指標	設定困難	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		HIV感染症等の早期発見・早期治療につながるよう検査・相談体制の充実及び啓発 ・電話または面談による相談の実施 ・福祉保健所における検査の実施	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保健所における匿名・無料の検査及び電話相談 ・HIV検査普及週間におけるHIV夜間検査 ・世界エイズデーにおけるHIV夜間検査及び、ポスター・リーフレットの掲示や配布等による啓発 ・市町村、医療機関及び教育機関へHIVポスター及びチラシの送付による啓発 等 </div>			
改善計画 (P)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県内保健所のHIV検査に関する情報を及び啓発活動の強化</p> </div>				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	○県庁のホームページにエイズに関する正しい知識及び検査・相談に関する情報を掲載、適宜更新 ○R3.4~6月の検査・相談件数 検査件数：17件 (うち夜間検査2件) 相談件数：4件 検査普及週間中の検査件数：5件				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・HIV感染者が多い20~30歳代の働き世代への夜間検査等啓発について検討が必要。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	自殺予防対策の推進	事業No.	136
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	障害保健支援課

目指す姿・事業の狙い	様々な相談窓口が連携した相談体制の充実	指標	県全体における自殺者数	出発点(R1)	現状値					目標値(R4)
				121人	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	100人未満

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策行動計画に基づく取組 地域における関係機関の連携強化 自殺未遂者支援に関するネットワークの構築 多重債務の関係機関との連携した取組 市町村・民間団体への支援 高齢者、若年者の自殺防止に向けたゲートキーパー、傾聴ボランティアの養成 いのちの電話の相談支援体制の強化 うつ病対策 アルコール健康問題対策 自死遺族に対する支援 普及啓発の促進 				
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパーの養成 普及啓発の促進 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー養成研修の準備 新聞広告、インターネット広告、テレビCMの実施 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発により相談件数の増加 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業名称	ひきこもりの相談支援体制の充実・強化	事業No.	137
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	地域福祉政策課


概要	1. 相談支援体制の充実 (1)ひきこもりの相談支援に関する情報発信 (2)市町村での多機関による支援のネットワーク化 2. 人材の育成 (1)支援関係者へのひきこもりの理解促進 (2)市町村への技術支援の強化 3. 多様な社会参加に向けた支援の充実 (1)地域にある既存資源の活用 (2)就労支援の充実	指標	○居場所等支援につながった件数 100件/年以上 ○中間的就労を経て就労した人数 10人/年以上	出発点(R1)	現状値	目標値(R5)
				-	R3: 90件以上 R4:95件以上 R5:100件以上 R6:- R7:- R3: 3人以上 R4: 6人以上 R5:10人以上 R6:- R7:-	○居場所等支援につながった件数 100件/年以上 ○中間的就労を経て就労した人数 10人/年以上

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降	
計画 (P) 線表	【相談支援体制の充実】 【人材の育成】 【多様な社会参加に向けた支援の充実】					地域福祉支援計画の改定に合わせて取組内容を検討する	
改善計画 (P)							

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	(アウトプット) 1. 相談支援体制の充実 ・市町村相談窓口の明確化：34市町村 ・市町村へのひきこもり支援全体像の説明 ・新規相談件数：84件 ・ケース会議実施市町村：10 2. 人材の育成 ・支援者連絡会の実施：3回 3. 多様な社会参加に向けた支援の充実 ・ひきこもり自立支援体制構築事業実績 (7月末)：見学者数6人、体験者数4人、利用者数11人、就労体験者数4人 ・認定訓練事業所数：14事業所 (県認定9、高知市認定5) ・居場所等への支援：7箇所				
評価 (C)	実施後の分析、検証	①市町村の窓口の明確化は概ね出来ているが、細やかな支援を行う体制の構築が出来ているとはいえない市町村もある ②連絡会や研修会などを実施しているが、資質向上のために継続した研修や技術支援の実施が必要 ③所在する市町村に偏りがあるため、利用者の希望に沿った居場所や就労体験などの支援の提供を可能とするよう、個所数や多様な業種を確保する必要がある。				
改善 (A)	次年度の取組	①市町村だけではカバーしきれない部分について、地域住民等による地域での見守りやなぎ等の支援が可能となるよう、広報や研修会により地域のプラットフォームへの参画の意識醸成を図る。 ②引き続き、個別ケース検討会への専門的な助言や効果的な研修を実施する。 ③あったかふれあいセンターの居場所や就労体験としての活用を促進				

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	3 「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援	事業 名称	生涯学習の活性化の推進	事業No.	138
取組の方向	①「人生100歳時代」を見据えたからだところの健康支援					担当課	生涯学習課


目指す姿・ 事業の狙い	高知県生涯学習ポータルサイト「まなび場 Search」の運用	指標	生涯学習ポータルサイトへのアクセス件数 55,000件以上	出発点(R1)	現状値					目標値(R5)
				57,012件 (R2)	R3:21,788件	R4:	R5:	R6:	R7:	55,000件/年

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	県内のあらゆる学び場、また、学んだことを活かす場の情報を発信するポータルサイトの運用	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【通年事業】 ・ホームページ保守運用 ・市町村の講座情報の収集 ・広報啓発（チラシの配布） ・企業や団体等とのデータ連携 </div> 				
改善計画 (P)		継続的な広報活動及び掲載情報数の充実				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.7月末時点] ○アウトプット (結果) ・ユーザ数：1,790人 (448人/月) ・新規ユーザ数：1,567人 (392人/月) ○アウトカム (成果) ページビュー数21,788件 (5,447件/月)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	【令和2年度】 ユーザ数 3,936人 (328人/月) 新規ユーザ数 3,493人 (291人/月) ページビュー数 57,012件 (4,751件/月) ・ユーザ数、ページビュー数ともに前年度を上回っている。継続的な広報に加え、掲載情報数の充実に努める。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	DVや性暴力、売買春の根絶啓発 配偶者等に対する暴力に関する相談・カウンセリング対策の充 実	事業No.	139
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・ 事業の狙い	【DVや性暴力、売買春の根絶啓発】 広報・啓発活動等により「DVを許さない社会」へ向けての意識を醸成す る 【DVに関する相談・カウンセリング対策の充実】 DV被害者に対し適切な相談対応・カウンセリングを行い、多様な問題を 抱えるDV被害者を支援する	指標	出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
				R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・DV防止に係る広報、啓発 ・女性相談員による相談及び指導の実施	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <p>・女性相談支援センターで電話及び対面での相談受付 ・県内各所への出張相談 ・休日・夜間の電話相談受付 等</p> </div> 				
改善計画 (P)	・女性に対する暴力をなくす運動期間 (11月12日～25日)を中心とした啓発活動の実施 (DV啓発カードの作成・配布、高知城のパープルライトアップ、公共交通機関でのポスター掲示、ラジオ番組での広報等)					

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.7末時点] ○アウトプット ・女性相談支援センターにおける相談件数 410件 うちDVに関するもの 109件				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・相談件数は前年同月比で減少 (R2.7末時点の件数: 443件、うちDV関係186件) している。 ・引き続き適切な相談対応を行うとともに、広報・啓発活動を実施し、DV被害者の早期発見につなげる。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	DVや性暴力、売買春の根絶啓発 配偶者等に対する暴力に関する相談・カウンセリング対策の充 実	事業No.	139
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	少年女性安全対策課

目指す姿・ 事業の狙い	・学生等の若者を対象とした被害防止の啓発を行う ・人身安全関連事業対策専科教養の継続によるDV・ストーカー等対応 専門員の増強 ・全所属職員に対して、恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案に対 する相談段階からの対応、指導教養の徹底	指標	R3	R4	R5	R6	R7以降	出発点(R1)	現状値	目標値(R●)
									R3: R4: R5: R6: R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
	・各警察署との情報共有を徹底し、連携を 強化する。 ・職員の能力向上のための研修を充実させ る。 ・学生等の若者への被害防止の啓発を行 う。					
改善計画 (P)		DVや性暴力、売買春の根絶啓発という 観点から学生を対象としたSNS利用に関 する各種教室を強化する 各種教室を実施するため警察官の知識 向上を図る				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ○アウトプット (結果) ・DV、ストーカーの特性を理解させ、対応 の重要性を認識させた ・SNS利用をきっかけとする性犯罪被害を 防止するためサイバーパトロールの実施 ○アウトカム (成果) ・警察内での情報共有 ・関係機関との連携				
評価 (C)	実施後の分析、検証	コロナウイルス感染拡大に伴い各種教養 などが実施できていない (年度内には実施予定)				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	DV被害者の保護と自立支援	事業No.	140
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・ 事業の狙い	DV被害者を迅速かつ適切に保護し、生活再建の支援を行い、DV被害者が安心して自立生活を送ることができるようにする	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> 一時保護したDV被害者等の自立に向けた取組の実施 自立支援施設の運営 民間シェルターへの運営費補助 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な一時保護の実施 自立支援施設の運営 民間シェルターの運営費補助 生活サポーター（女性相談支援センター職員）による一時保護所退所者への自立支援（日常生活の支援、各種手続の支援等）等 </div>				
改善計画 (P)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き迅速かつ適切に一時保護を実施し、生活再建の支援を行う 生活サポーターによる支援を継続し、DV被害者が安心して生活できるようにする 民間シェルターの運営の現状を把握し、適切な支援のあり方について検討する 					

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトプット（結果） アウトカム（成果） 	<p>[R3.7末時点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトプット 一時保護件数 7件（うちDV関係5件） 一時保護延日数 103日 生活サポーターによる退所者支援 15人（訪問・面談等延45回） 民間シェルター補助金 1団体 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> 適切に一時保護を実施し、退所者への生活サポーターによる支援を行っている。 多様な問題を抱えるDV被害者への対応により、民間シェルターの運営に係る負担が増大しているため、運営の現状を把握し、役割分担や運営支援のあり方等について検討する必要がある 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための 基本計画の推進	事業No.	141
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・ 事業の狙い	基本計画の推進・進捗管理を行い、県のDV被害者支援 施策を全体的に推進する	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	第3次高知県DV被害者支援計画の推 進・進捗管理及び第4次計画の策定					
改善計画 (P)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の進捗管理を行う ・第4次計画の検討及び策定を行う 					

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の進捗管理を年2回 (上 半年期及び下半年期) 行っている。 ・第4次計画の策定委員会を開催し、次 期計画について検討した。 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の進捗管理を年2回 (上 半年期及び下半年期) 行い、施策の推進に 努めている。 ・第4次計画の策定委員会を開催し、委 員や関係課・機関の意見を踏まえつつ、 次期計画について検討している。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	配偶者暴力相談支援センター（女性相談支援センター）の機能の充実	事業No.	142
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・ 事業の狙い	配偶者暴力相談支援センター（女性相談支援センター）の機能充実や相談員のスキルアップによる、多様な問題を抱えるDV被害者等への適切な支援の実施	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> ・休日、夜間電話相談の実施 ・出張相談の実施 ・無料法律相談の実施 ・相談員等の専門研修への参加 ・講師を招いての所内研修の実施 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日・夜間電話相談の実施 ・県内各所への出張相談の実施 ・無料法律相談の実施 ・DV被害者への心理カウンセリングの実施 ・相談員等の専門研修参加 ・所内研修やスーパーバイズの実施 </div>				
改善計画 (P)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、休日・夜間電話相談や出張相談を行う ・相談員等の専門研修への参加 ・外部講師による所内研修を実施予定 					

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果） 	<p>[R3.7末時点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトプット ・出張相談件数 5件 ・専門研修への参加 延3人 ・無料法律相談 13件 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・休日・夜間電話相談や出張相談の実施により、DV被害者等がより相談しやすくなっていると考えられる。 ・専門研修への参加や所内研修の実施により、相談員のスキルアップを図っているが、新型コロナの影響で一部の専門研修が中止となっている。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	女性に対する暴力防止ネットワークの構築、連携の推進	事業No.	143
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課

目指す姿・ 事業の狙い	出先機関、各市町村、警察等の関係機関同士の連携を深め、 迅速かつ適切なDV被害者支援を実施する	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・参加機関の拡充と参加率のアップに向けた内容の見直し ・女性相談支援センターと児童相談所、各市町村、警察等関係機関との連携強化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <p>・ブロック別関係機関連絡会議及びネットワーク会議の開催</p> </div>				
改善計画 (P)	(下半期の予定) ・関係機関連絡会議・ネットワーク会議の開催 ・DV出前講座の実施 ・女性相談支援センターの、市町村要対協への参加 (随時)					

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	○アウトプット ・女性相談支援センター職員による各市町村職員へのDV出前講座の実施 9市町村 ・要保護児童対策地域協議会への女性相談支援センターの参加				
評価 (C)	実施後の分析、検証	・DV出前講座の実施により、市町村職員にDVに対する認識や相談対応方法を習得してもらったとともに、女性相談支援センターとの連携強化を図った。 ・要保護児童対策地域協議会への参加等により、女性相談支援センターと児童相談所、各市町村、警察等関係機関との連携を深めた。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	相談関係者に対する研修・啓発	事業No.	144
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・ 事業の狙い	多様な問題を抱えるDV被害者に対しより適切な助言・支援を行えるよう、DV相談に携わる職員のスキルアップにより、支援体制を強化する	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	<ul style="list-style-type: none"> ・ソレによる相談員スキルアップ研修の実施 ・女性相談支援センターによるDV出前講座の実施 ・DVネットワーク会議における研修実施 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <p>・ソレによる相談員スキルアップ研修の実施 ・女性相談支援センターによるDV出前講座の実施 ・DVネットワーク会議における研修実施 等</p> </div>				
改善計画 (P)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソレによる相談員スキルアップ研修の実施 ・女性相談支援センターによるDV出前講座の実施 ・DVネットワーク会議における研修実施 					

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果) 	<p>[R3.7末時点]</p> <p>○アウトプット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性相談支援センターによる各市町村職員へのDV出前講座の実施 9 市町村 ・ソレによる相談員スキルアップ研修の実施 (上半期は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> ・DV出前講座の実施により、市町村職員に対し、DVに対する認識や相談対応の方法、女性相談支援センターの周知を図ることができた。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業名称	相談関係者に対する研修・啓発	事業No.	144
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	こうち男女共同 参画センター「ソール」

目指す姿・ 事業の狙い	県内相談機関の相談員を対象としたスキルアップ研修・啓発を実施することで、各相談機関の相談者同士の情報交換や交流による連携強化を図る。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・相談員スキルアップ（職員）研修の実施					
改善計画 (P)		状況に即した研修を実施し、各相談機関の相談者同士の情報交換や交流による連携を強化することで、相談事業を充実させる。				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証	-				
改善 (A)	次年度の取組	-				

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	DV及びデートDVに関する啓発及び情報提供	事業No.	145
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・ 事業の狙い	DVやデートDVに関する広報・啓発を行い、「DVを許さない社会」 に向けた意識の醸成を図る	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	・DV防止に係る広報、啓発 ・ソレによるDV・デートDVに関する 出前講座等の実施	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <p>・女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）を中心とする啓発活動の実施 ・ソレによるDV・デートDVに関する出前講座等の実施</p> </div>				
改善計画 (P)		<p>(下半期実施予定)</p> <p>・女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）を中心とした啓発活動の実施（DV啓発カードの作成・配布、高知城のパープルライトアップ、公共交通機関でのポスター掲示、ラジオ番組での広報等）</p>				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	未実施				
評価 (C)	実施後の分析、検証					
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業名称	DV及びデートDVに関する啓発及び情報提供	事業No.	145
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	ごうち男女共同 参画センター「ソーレ」


目指す姿・事業の狙い	DV防止啓発講演会、情報提供事業等の実施により、女性に対するあらゆる暴力の根絶に努める。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	DV防止講座事業の実施					
改善計画 (P)		情報共有により関係機関との連携強化を図るとともに、教育機関への啓発・広報を行い、機会を確保して出前講座を拡充していく。				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	[R3.6月末時点] ○アウトプット (結果) ・デートDVに関する出前講座開催 ソール職員講師派遣 1件280名参加 ○アウトカム (成果) ・デートDVに関する啓発及び情報提供を学校で行い、参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。				
評価 (C)	実施後の分析、検証	出前講座の実施により、参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。				
改善 (A)	次年度の取組	-				

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	DV被害者を支援するNPOの育成・協働の推進	事業No.	146
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	人権・男女共同参画課


目指す姿・ 事業の狙い	民間シェルターの活動を支援し、さまざまな問題を抱えたDV被害者の支援を行う	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	引き続き支援を行うとともに、役割分担や支援の在り方等を検討	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【通年事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間シェルターの運営費補助 ・DVに係る広報・啓発活動での民間団体との協力 等 </div> 				
改善計画 (P)	・運営の現状を把握し、役割分担や運営支援のあり方等について検討する必要がある					

実行 (D)	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果) 	<p>○アウトプット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間シェルター補助金 1団体 				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<p>・多様な問題を抱えるDV被害者への対応により、民間シェルターの運営に係る負担が増大しているため、運営の現状を把握し、役割分担や運営支援のあり方等について検討する必要がある</p>				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	被害者の心情等に配慮した捜査活動の推進	事業No.	147
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	県民支援相談課


目指す姿・ 事業の狙い	教養・研修会を実施し、各種支援制度の適切な運用を図るとともに、講演会や街頭活動等を通じて、犯罪被害者等の現状や各種施策、相談窓口等に関する広報を積極的に実施する。	指標		出発点(R1)	現状値					目標値(R●)
					R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	

計画 (P) 線表	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
		被害者のニーズを的確に把握するとともに、各種支援制度、相談窓口等に関する積極的な広報啓発活動を実施し、周知徹底を図る。				
改善計画 (P)						

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、6月末までに予定していた教養・研修会は中止又は延期となり、実施していない				
評価 (C)	実施後の分析、検証	未実施のため分析、検証できない (開催可能となり次第、実施する)				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業 名称	被害者の心情等に配慮した捜査活動の推進	事業No.	147
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	少年女性安全対策課

目指す姿・ 事業の狙い	・被害者に対する捜査員の事案及び相談対応能力を高めるため専科教養を実施する	指標	毎年実施	出発点(R1)	現状値					目標値(R7)
				毎年実施	R3: 未実施	R4:	R5:	R6:	R7:	毎年実施の継続

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	担当者のみならず、全警察官、職員に対し、人身安全関連事案への理解と意識付けを徹底させるため、今後とも各種機会を捉え、指導教養を繰り返し実施することが必要					
改善計画 (P)		県警察学校における各種専科（他部門含む）の授業で、人身安全関連事案の重要性を理解させる				

実行 (D)	成果 ・アウトプット（結果） ・アウトカム（成果）	【R3.6月末時点】 ○アウトプット（結果） ・新任補導職員等研修における教養 ・人身安全関連事案などに関する巡回指導：県内12署すべて ○アウトカム（成果） ・短期間で成果が確認できるものではない				
評価 (C)	実施後の分析、検証	例年、新年度開始当初に実施していた「人身安全関連事案担当者」対象の研修会が、コロナ禍に伴う密集回避の観点から未実施である。				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業名称	犯罪被害者等支援 犯罪被害者等に対する相談支援の充実	事業No.	148
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	県民生活課

目指す姿・事業の狙い	①犯罪被害者等の支援を効果的に行うために、県に相談窓口を設置し、支援の調整を図る。 (犯罪被害者等支援相談窓口運営事業)	指標	事業の性格上、相談件数等の数値目標は定めていない。	出発点(R2)	現状値					目標値(R●)
				110件 (55人)	R3:	R4:	R5:	R6:	R7:	0

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	①専任の相談員が犯罪等の被害に関する相談をうけるとともに、必要な情報を提供し、関係機関との調整やコーディネートなど総合的な被害者支援に取り組む。					
改善計画 (P)		<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の広報・周知に係る取組の強化 				

実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3. 6月末時点】 ○アウトプット ・電話相談等 29件 (16人) ・面接相談 0件 ・警察庁研修 (オンライン) 6月				
評価 (C)	実施後の分析、検証	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪直後の相談はなく、被害から時間経過したものが多い 相談内容は、他の支援機関等で既に相談対応済みの事案が多い 広報・周知を実施 (6月初め) 直後は、相談件数が増える傾向があった。 				
改善 (A)	次年度の取組					

テーマ	Ⅲ 環境を整える	取組の柱	4 女性に対するあらゆる暴力の根絶	事業名称	犯罪被害者等支援 犯罪被害者等に対する相談支援の充実	事業No.	148
取組の方向	①女性に対するあらゆる暴力の根絶					担当課	県民生活課

目指す姿・事業の狙い	②性犯罪・性暴力被害者のワンストップ支援センターを運営し、被害者の心身の早期回復及び被害の潜在化の防止を図る。 (性暴力被害者等支援センター運営業務)	指標	事業の性格上、相談件数等の数値目標は定めていない。	出発点(R2)	現状値			目標値(R●)
				・相談件数308件 ・直接的支援292件	R3:	R4:	R5: R6: R7:	0

	取組内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7以降
計画 (P) 線表	②令和3年度より、こうち被害者支援センターに運営業務を委託し、性犯罪・性暴力被害者等に対して、電話相談、面接相談、付き添い支援、情報提供等のきめの細かい支援を被害直後から行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・電話相談 ・面接相談 ・直接的支援（付き添い支援） ・関係機関との支援のコーディネート ・被害届を提出することが困難である被害者の医療費助成 ・弁護士相談及びカウンセリング費用の公費負担 ・支援機関の医療従事者向け研修 ・ワンストップ支援センター業務の広報・周知 等 </div>				
改善計画 (P)		(R3.4.1～) ・支援コーディネーターの配置 ・相談時間の延長 (R3.10～予定) ・国のコールセンターと連携し、24時間365日相談体制の構築				
実行 (D)	成果 ・アウトプット (結果) ・アウトカム (成果)	【R3.6月末時点】 ○アウトプット ・電話相談等55件 ・面接相談9件 ・直接的支援36件 ・医療費助成0件 ・法的支援1件 ・カウンセリング0件 ○アウトカム ・医療従事者向けの研修内容の見直し (研修実施は11/9予定)				
評価 (C)	実施後の分析、検証	○昨年同時期比較 ・電話相談等(△2)・面接相談(+4) ・直接的支援(+10)と微増の傾向 (明確な要因は不明) ○R3年度から委託事業 (これまでは補助金事業) として、人材の確保・育成の必要性が一層明らかとなった。				
改善 (A)	次年度の取組					